

「元氣と活力ある都市づくり」をめざして

八代市長 坂田 孝志



就任にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

去る9月4日の八代市長選挙では、多くの市民のみなさんからの温かいご支援を賜り、市政の重責を担うこととなりました。

さて、みなさんご承知のとおり、8月1日に1市2町3村が合併し、人口14万人、面積680平方キロメートルを有する、県南最大の都市が誕生いたしました。これから、正に新たな八代市としての真価を発揮していかなければなりません。

新市「八代市」は、広大な八代平野、母なる川球磨川、山、緑、八代海、この大自然豊かな、歴史と文化と伝統に育まれており、個性豊かな地域の広がりを持っています。

このような旧市町村の個性を活かしながら、い草の振興、特産品の開発および高付加価値作物への転換など、第一次産業の振興はもちろんのこと、開湯六百年に向けた日奈久温泉の再生や秘境五家荘の活用、あるいは、舟出浮きのさ

らなる推進など、観光の振興を促進することにより、賑わいのある、躍動感あふれる街の実現を目指します。

次に、新幹線新八代駅周辺の開発を促進し、国際貿易港八代港を早期に整備することにより、物流拠点都市の形成を図ります。また、大型店出店に伴う既存商店街振興対策に取り組み、地域経済を活性化させ、若者や子供たちが未来に希望の持てる魅力ある街にしたいと考えております。

現在、本市を含めて地方財政は、国の基本方針に基づく三位一体の改革により、国からの補助金と地方交付税交付金が削減され、大変厳しい状況下にあります。

そのような中で、行財政改革にも積極的に取り組み、無駄を排し、財政の健全化に努め、必要あるものには積極的な投資を行い、「元氣と活力ある都市づくり」を目指し、市民のみなさんと一緒になって、全力をあげて取り組んでまいります。

もとより微力ではございますが、市民のみなさまから寄せられました信頼と期待に応えるため、新たな決意と情熱をもって「創生”輝く新都八代”を基本理念に、それぞれのおまの力を結集し、豊かな資源を活かし、個性きらめく交流拠点都市の実現に向け、全力を傾注していく決意であります。

最後になりましたが、先月、九州地方を通過した台風14号は、九州各地はもとより、本市においても、泉町の山間部で土砂崩れにより道路が寸断されるなど、大きな爪跡を残しました。被災された市民のみなさまには、心よりお見舞い申し上げますとともに、早急な災害復旧に努めてまいります。

簡単ではございますが、就任にあたってのごあいさつとさせていただきます。